

2 市町職員研修

【一般研修】

NO	研修名	対象者	目的	期数	実施 人員	期間	期別	時期	備考
1	若手職員研修* (職員第1部研修)	在職年数が3年以上、年齢が概ね29歳以下の職員 (*県職員研修と合同実施)	公務のプロとして職務に臨む姿勢を考え、県及び市町職員としての自覚や心構え、使命感を涵養するとともに、若手職員に必要な能力の向上を図る	7	250	2日	600~606	12~2月	合同 一部 オンライン
2	中堅職員研修* (職員第2部研修)	採用後概ね10年以上の役付でない職員 (*県主任研修と合同実施)	所属する組織における中堅職員としての役割・心構えに対する認識を深め、行政課題の解決に必要な能力及び対人関係能力の向上を図る	5	193	3	374~378	9~10月	合同 一部 オンライン
3	監督職研修	係長又はこれに相当する職にある職員で、部下を監督する職にある者	監督職のあり方について考えるとともに、監督職としての役割・責任に対する認識を深め、仕事のマネジメント及び人材育成にかかる能力の向上を図る	6	203	3	585~590	5月~7月	合同 一部 オンライン
4	管理職研修	管理職にある者	管理職のあり方について考えるとともに、管理職としての役割・責任に対する認識を深め、組織のリーダーとして職場を管理運営するための能力の向上を図る	3	147	2	371~373	10月	
5	再任用職員研修	令和4年4月に新たに再任用職員(監督職、一般職員)として任用された職員	新たに再任用された職員が高いモチベーションをもってノウハウや経験を業務に活かすための心構えとスキルを向上	1	12	1	1	10月	
				1	43	1	2	11月	
小計(D)				23	848				

【特別研修】

NO	研修名	対象者	目的	期数	実施 人員	期間	期別	時期	備考
1	政策づくりの基本研修	概ね3年以上の職務経験のある若手・中堅職員(管理・監督職を除く)	行政環境の変化や住民ニーズの複雑多様化を踏まえ、現状分析、課題認識、解決策の提案などの政策づくりの基本を学ぶことにより、政策形成能力の向上を図る	1	15	3日	17	2月	合同
2	政策形成実践研修	概ね5年以上の職務経験のある若手・中堅職員	行政の重要な政策課題をテーマとして、フィールドワークを含む実習や講義を通じ、実践的な政策づくりの考え方や手法を学び、政策提案を行うことにより、政策形成能力の向上を図る	1	10	6	10	8~9月	合同 一部 オンライン
3	公務員倫理指導者養成研修	係長級以上または在職年数が10年以上の職員で、受講後、公務員倫理研修の講師を務めることが予定されている者	地方公務員を取り巻く行政環境の変化の中、公務員倫理指導者として必要な知識・技術を習得し、住民から信頼される職場づくりに資する	1	14	3	24	11月	
4	接遇指導者養成研修	係長級以上又は在職年数が10年以上で、受講後、各市町において接遇研修の講師を行うことを予定している者	接遇指導者として必要な知識・技術を習得するとともに、各職場において接遇研修を実施し、住民サービスの向上を図る	1	17	3	98	6月	合同
5	リスクマネジメント研修	不祥事等の発生時に責任者としてマスメディア対応等を行う必要のある幹部・管理職	平時から不祥事等に備えるとともに、不祥事等が発生した場合に迅速かつ適切にマスメディア等に対応するため、必要な基本的スキルを習得	1	19	1	4	5月	合同
6	行政法(基礎・争訟)研修	行政争訟に関する基礎的知識、実践的能力を習得する必要がある者	(基礎) 行政法の基礎的な知識を習得し、職務遂行能力の向上を図る	1	35	2	84	9~10月	合同 オンライン
			(争訟) 行政争訟に関する知識を学ぶとともに、近年増加する自治体に対する訴訟の動向を理解し、実際の紛争に的確に対応できるよう実務能力の向上を図る	1	17	2			合同
7	民法研修	民法の基礎知識を習得する必要がある者	民法実務に関する演習等を通じて、民法の理解を深めつつ法務能力を培い、職務遂行能力の向上を図る	1	50	3日	69	8月	合同 オンライン

NO	研修名	対象者	目的	期数	実施人員	期間	期別	時期	備考
8	キャリア形成研修～女性リーダーのために～	管理職及び監督職にある女性職員	管理・監督職の女性職員が、ともにワークライフバランスや実務上の課題を共有し、自身がめざすリーダー像について考えるとともに、さらなるキャリアアップに向け、リーダーとして必要な資質やスキルの向上を図る	1	37	2	9	7～8月	合同
9	外部人材から学ぶ発想力・行動力向上研修	若手・中堅職員(管理・監督職を除く)	民間企業経営者やNPO等外部人材から、現場目線や多様な視点での事業の企画立案のアイデアの発想、民間団体や企業とのコラボレーションの手法などを学び、発想力・行動力の	1	25	1	2	11月	
10	働き方改革のための事業見直し研修	管理職、監督職	働き方改革推進の一環として、選択と集中を徹底して取組の重点化を推進するために、事業のスクラップ&ビルドの必要性、事業見直しの進め方や心構えを学び、組織運営力の向上を図る	1	33	1	3	11月	合同
11	働き方改革のための効率アップ研修	若手・中堅職員(管理・監督職を除く)	働き方改革推進の一環として、仕事の効率を高める実践的なスキルを学び、効率的に業務遂行するタイムマネジメント力の向上を図る	1	47	1	3	11月	
12	説明力向上研修	若手・中堅職員(管理・監督職を除く)	効率的・効果的な業務遂行のため、相手が理解しやすい資料づくりや的確に伝える論理的な説明手法を学び、実務能力を向上を図る	2	65	1	2～3	11月	合同
13	クレーム対応力向上研修(組織対応編、法的対応編)	クレーム対応の必要性が高く、組織として対応力の向上が要請される管理・監督職 * 研修受講後速やかに、所属職員への職場研修を実施することを受講の条件とする。	近年、増加傾向にある過大要求、不当要求などの悪質なクレームについて、組織で対応する重要性について理解を深めるとともに、実践的な対応策を学ぶ。あわせて、受講内容をもとに職場研修を実施することにより、組織としてのクレーム対応力向上を図る (組織対応編)悪質なクレーマーに組織的に対応するために必要な知識・対応策を専門家から学ぶ (法的対応編)悪質なクレーマーに法的に対応するために必要な知識・対応策を弁護士から学ぶ	2	50	1	22～23	9月	合同 オンライン(組織対応編)
14	クレーム対応力向上研修(窓口対応編)	窓口等の現場においてクレーム対応に携わる機会が多く、その対応力の向上が要請される者(管理・監督職を除く)	窓口でのクレームに対する基本的な対応のスキルを学び、初期段階からの対応力向上を図る	2	73	1	12～13	9月	合同 オンライン
15	トップマネジメントセミナー	管理職	社会経済情勢の変化や自治体経営の課題等についての認識を深め、広い視野を涵養することにより、マネジメント力の向上に資するとともに、VUCA時代に求められるリーダーシップを醸成する	1	18	1	1	8月	合同 ハイブリッド
16	地域別研修	県民局長・県民センター長が認める職員	各県民局が、地域の多様な行政課題を解決する人材を育成するため、地方機関職員等を対象として実施する「地域別研修」を支援する。	18	25	-	-	県民局単位等で実施	合同
小計(E)				37	550				

	期数	実施人員
市町合計(D+E)	60	1,398
県・市町合計(A+B+C+D+E)	153	4,683

(注) ・備考欄の「合同」は、県職員と市町職員の合同研修を示す。
・公社の人数は()内書した。